

# アドバンス・ケア・プランニングと共同意思決定

アドバンス・ケア・プランニング(advance care planning: ACP)は、自分で医療とケアについての考えを伝えられない状態になることを想定して、患者や家族らと将来の方針を共有していくプロセスです。共同意思決定(shared decision making: SDM)は、不確実性がある複数の選択肢がある場合、医療チームは患者にすべての選択肢、メリット・デメリット、EBM情報を提供し、患者の価値観や意向などを把握した上で、最善の選択肢を提案し、話し合いを通して家族らも合意して患者が最良の意思決定を行う重要なプロセスです。

## 共同意思決定における医療チームに必要な配慮

岡田一義：腎と透析 73: 421-426, 2012より引用、一部改変

